

「石塚克彦の豊かな芸術が戦後の文化環境のなかでどのように育ってきたかを、彼が語る。あゝ、それを知りたかった。」（映画監督 山田洋次氏）

# ミュージカル へのまわり道



石塚克彦・著 英 伸三・写真 ふるさときゃらばん出版する会・編  
四六判 576頁 定価 3,500円＋税 11月29日発売

「私は、民俗学で言うところの地芝居現代版をやりたくて、ふるさときゃらばんなどという変な名前の劇団をつくった。だから条件が許すかぎり地元に着した芝居づくりをしたいのである。」

日本のどこにでもある農村や名も無き庶民の生活に密着したストーリー、カッコよさや美しさよりも魂のこもった演技にこだわり、日本土着のミュージカル作品を数多く創作・演出。従来ミュージカルとは無縁だった人たちをも魅了し続けた、日本ミュージカル界の革命児・石塚克彦。彼が幼少・青年期の体験や芝居創作のエピソードなどを綴った劇団季刊誌の連載をまとめた遺稿集。

## 【構成】

刊行にあたって ひらつか順子（ふるさときゃらばん出版する会／元ふるさときゃらばんチーフプロデューサー）（プロローグ）「地芝居ミュージカル」脚本・演出家の私的な吹き

### 第1幕 石塚ミュージカルの原点とその周辺

山揚げ祭で知られる栃木県烏山町（現・那須烏山市）で生まれ育った石塚。利かん気が強く、そのしっぺ返しも多かったが、よき家族や仲間、先輩、先生と過ごした幼少・青年期の体験は実に濃厚だった。そこには石塚ミュージカルにつながる物語りがあふれている。

【回想】 牧内節男（元・スポーツニッポン新聞社社長）、瀬川昌久（音楽評論家）、高平哲郎（放送作家・演出家、編集者）、寺本建夫（作曲家・イラストレーター）

### 第2幕 身近にいた物怪や妖怪たち

石塚の幼少期、人も獣も物怪も同じ世界にくらしていた。だから、狸や狐にだまされる体験がごくふつうにあり、また鬼や天狗、河童も空想なんかではなく、その存在をごく身近に感じることができた。石塚ミュージカルが描く獣や物怪たちの物語りの原点をここにみる。

【グラビア】 ふるさときゃらばんの世界 英 伸三（写真家）

### 第3幕 ミュージカル制作現場の顛末

石塚は劇団新制作座と出会い、舞台美術の仕事をするうちにシナリオライターの道に轉身し、劇団ふるさときゃらばんを発足させた。1,200自治体、4,700回を超える公演で心に止めたこと、出会った人々などなど、ミュージカルの制作現場での顛末が語られる。

【回想】 木村 隆（演劇評論家）、横溝幸子（演劇評論家）、藤原作弥（エッセイスト・作家）、野口久光（ミュージカル・ジャズ・映画評論家／故人）

### 第4幕 日本列島をキャラバンすると

福岡県星野村（現・八女市）で石塚は棚田と出会う。効率優先社会のなかで忘れられていたムラの遺産を後世に引き継いでいこうと棚田サミット立ち上げに奔走する。つねに現場との対話のなから題材を見出し、物語を紡いでいく石塚ミュージカルの真髄をここにみる。

【回想】 中島峰広氏（棚田学会顧問・早稲田大学名誉教授）、篠原 孝（衆議院議員）、古川 康（衆議院議員）、菱山晋一（信越放送取締役）、秋本敏文（公益財団法人日本消防協会会長）、鈴木 昶（元ふるさときゃらばん制作部）、天城美枝（演出家・俳優）

◎石塚克彦&ふるさときゃらばん・新生ふるさときゃら 年譜

◎資料1 山形雄策「統一劇場の十四年に想う」

◎資料2 福田定良「堅気の人々の喜劇―石塚克彦への手紙」

◎解説 石塚克彦の遺したもの 岸康彦（農政評論家）

# 石塚ミュージカル 作品一覧

- 1970年 JAPANN EXP'70「天国と地獄'70」(統一劇場) \*「NHK」=記録映像がNHKに残っている作品
- 1972年 「オモチャの青春」(統一劇場)
- 1974年 「ふるさと」(統一劇場)
- 1978年 「おっ母さん」(統一劇場)
- 1980年 「兄んちゃん」(統一劇場)
- 1983年** 「親父と嫁さん」(1985年第40回記念文化庁芸術祭賞) **★ふるさときゃらばん創立**
- 1986年 「ザ・結婚」(1987年第3回日本舞台芸術家組合賞受賞) \*NHK
- 1988年 「ムラは3・3・7拍子」\*NHK「風和土和人之歌」中国巡演コンサート
- 1989年 「川と人と橋のものがたり」300人のミュージカル IN 安塚・日本イベント大賞
- 1990年 「ユー・Ah!マイ SUN 社員」\*NHK  
1日で作る300人のミュージカル「夏・祭りゆるじかる IN 安塚」(日本イベント大賞最優秀企画賞)
- 1991年 日米合作「LABOR OF LOVE」・NHK
- 1992年 「GUMBO YA-YA」バルセロナオリンピック芸術祭参加作品/「サラリーマンの金メダル」\*NHK
- 1993年 「男のロマン女のフマン」・NHK/「クマゴンの森」グローバルフォーラム'93参加作品/  
「朝日村ファンタジー」信州博
- 1994年 「裸になったサラリーマン」(1996年第4回スポニチ文化芸術大賞スポニチグランプリ)\*NHK
- 1995年 「リバーミュージカル荒川」
- 1996年 「パパは家族の用心棒」(1997年第4回水産ジャーナリストの会年度賞)\*NHK /「信濃川」
- 1997年 「OH!マイ SUN 社員」\*NHK/「駆ける!架ける!YATTOSEY!」\*NHK
- 1999年 「噂のファミリー」(東京芸術劇場ミュージカル月間優秀賞)\*NHK  
「瓶々森の河童」/田んぼの詩「太陽のつぶつぶ」
- 2000年 「リバー・ピープル〜川とたたかうひとと人々」白根市ミュージカル
- 2001年 「HOP STEP NAGOYA」/「ホクトウの森」(うつくしま未来博ジャパンエキスポ大賞)/「リバーヘッド」
- 2002年 「パパの明日はわからない」(第14回池袋演劇祭大賞)\*NHK ★映画「走れ!ケッタマシン」
- 2003年 「天狗のかくれ里」/「未智普請(みちぶしん)」\*NHK 中部局 /「あしたくる風」
- 2003年 「地球のいのち〜森と水」
- 2004年 「沖縄みちぶしん」2003年改訂版/「北海道 未智普請」
- 2005年 SHOW「われら地球族」/「どんどんどんどん」愛・地球博  
「カントリーチャレンジャー」(稲ムラの火)/「みちぶしん・四国」/「沖縄みちぶしん」
- 2006年 「地震カミナリ火事オヤジ」(消防庁長官より感謝状/2009年日本消防協会より「記念纏」授与)\*NHK  
「世界はまるい」われら地球族改訂版
- 2007年 「雲たか山の鬼」/「鬼ガ島のへんな奴ら」
- 2008年 「ホープランド」
- 2010年** 「トランクロードのかぐや姫」/「ミュージカルショー」池袋・西武デパート **★新生ふるきやら創立**
- 2011年 「走れ!つなげ!コープ宅配」岡山コープ/「走れ!ホペタン」さいたまコープ
- 2012年 「ドリーム工場」/SHOW「稲ムラの火・まじめなコンサート」
- 2014年 「走れ!こまどり便」奈良コープ/「まっ赤なトマトくん」神奈川コープ  
「リバーヘッド」・新生ふるきやらバージョン/「リバーヘッド・奈良」
- 2015年 「風そより」/「水はどこから来るのだろうか?」リバーヘッド改訂版 **★石塚克彦逝去(享年78歳)**

農文協(FAX03-3585-3668)あて 【ご注文書】

「ミュージカルへのまわり道」(3,500円+税) \_\_\_\_\_冊

番線

名前: \_\_\_\_\_ 電話: \_\_\_\_\_

住所: (〒 - )

(一社)農山漁村文化協会(農文協) 〒107-8668 東京都港区赤坂7-6-1 TEL 03(3585)1142

- 農業書センター(東京・神保町)TEL 03(6261)4760
- 東海北陸支部(名古屋市) TEL 052(746)2061
- 北海道支部(札幌市) TEL 011(271)1471
- 近畿支部(大阪市) TEL 06(6962)0491
- 東北支部(仙台市) TEL 022(262)5804
- 中国四国支部(岡山市) TEL 086(231)2693
- 関東甲信越支部(小山市) TEL 0285(27)3047
- 九州沖縄支部(福岡市) TEL 092(282)8550